

原発vs食・農・平和

↓ ~社会のしくみを変えるために~ ↑

2025年9月7日 (日曜日)
午後2時~ (開場1時半)

いたみホール / 大ホール 阪急伊丹駅 北へ3分
JR伊丹駅 西へ8分

チケット * 当日 1000 円 前売 800 円

35才以下・介助者は、無料

障がい者・避難者は、半額

主催 * 第14回さようなら原発1000人集会実行委員会

問合せ * 090-5040-1118 (なんば)

青木 理さん

1966年生れ。

ジャーナリスト、コメンテーター。
元共同通信記者(ソウル特派員など)。
主な著書に『日本の公安警察』『日本会議の正体』『安倍三代』などがある。
最近では文化放送の「大竹まことゴールデンラジオ」にも出演。

藤原 辰史さん

1976年生れ。

歴史学者、農業史研究者。
京都大人文研教授。専門は歴史学。特に農業史と環境史。
主な著書に『トラクターの世界史』『戦争と農業』『ナチスのキッチン』『食の歴史』などがある。
自然と農業、食物などについて文明的に論じる。

対談

福島原発事故から15年弱。いまだ故郷に帰れない人が多数いるのに、政府は第7次エネルギー基本計画で原子力発電に全面回帰しようとしています。

原発は安価ですか？東京電力は事故で破産状態になり、20兆円を超す税金を投入しても再建のメドはたちません。これまで40年とされていた原発使用期限は60年超に延長されており、事故の危険性は増すばかりです。「トイレのないマンション=原発」は人類に必要ですか？処理処分できない核のごみがたまり続けています。今後人口が減少する日本で、今以上のエネルギーは必要ですか？電気は足りており、持続可能な社会のため農業・食料の確保こそが最優先で、経済成長=原発依存を採るのは愚かです。

福島事故を取材し政治の貧困を批判してきたジャーナリスト・青木理さんと給食・農業・トラクター・戦車・戦争をひとつながりに論じる京都大教授・藤原辰史さんとが、社会の仕組みを変える必要を縦横に語り合います。